

敬和学園大学と地域社会を結ぶコミュニケーション誌



# KEIWA

## COLLEGE REPORT

第 33 号

February 2003

発行 / 敬和学園大学広報委員会



北垣学長 退任 特集

### 北垣宗治学長退任インタビュー 北垣宗治学長を送ることば

人気授業をサーチする「日本語教育入門」

学生による「英語ボランティア」

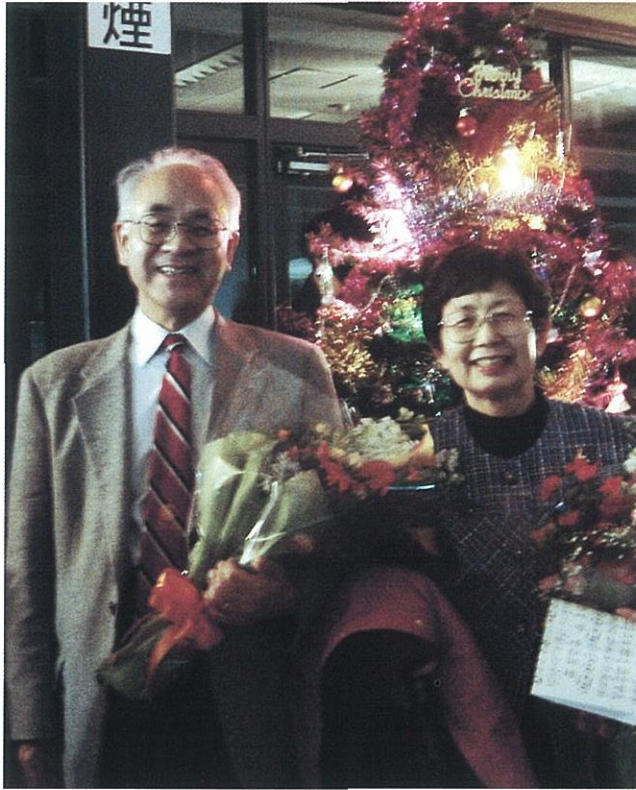
第12回敬和祭の報告

第2回リフレッシュ・セミナーを開催して

就職内定者の体験発表会の報告

理事長の本「み手のうちに」ご紹介

# 2003



今年のクリスマス行事は、新発田市内の特別養護老人ホーム「二の丸」へのキャロリングから始まり、燭火礼拝、新発田病院、新発田教会へのキャロリング、クリスマス・パーティーで終了しました。

キャロリングを回ってきたもの、燭火礼拝に参加してきたもの、その他多くの学生、教職員が集まって行われたクリスマス・パーティーの中で、留学生の代表から北垣学長夫妻に花束が贈呈されました。これは、開学当初から「留学生を支える会」の設立、企画・運営のすべてを行ってこられた北垣景子学長夫人への留学生からの感謝のしるしです。

## もくじ

|                      |    |                    |    |
|----------------------|----|--------------------|----|
| 北垣学長退任インタビュー         | 1  | オープン・カレッジが終了しました   | 13 |
| 北垣学長さよなら講演会・送別の会のご案内 | 4  | 2003年度科目等履修生募集のご案内 | 13 |
| 北垣学長を送ることは           | 5  | 就職内定者の体験発表会の報告     | 14 |
| 北垣学長へ卒業生からのメッセージ     | 7  | 就職懇談会の報告           | 14 |
| 人気授業をサーチする「日本語教育入門」  | 8  | 2003年度入試のご案内       | 15 |
| 訪問介護員3級養成研修報告        | 8  | 寄付者ご芳名             | 15 |
| 学生による「英語ボランティア」      | 9  | 理事長の本「み手のうちに」ご紹介   | 16 |
| 第12回敬和祭の報告           | 10 | 学事予定               | 16 |
| 第2回リフレッシュ・セミナーを開催して  | 12 | キャンパス日誌            | 17 |

<表紙写真> 学生たちと談笑する北垣学長

学生たちが学長と気軽に話せるのも小さな大学ならではのことで。



# 北垣宗治学長 退任インタビュー

本学が開学した一九九一年以来、三期十二年の間、初代学長として務めてこられた北垣宗治先生が、今期末の三月をもって退任されます。退任にあたり、北垣先生の同志社大学時代の教え子でもある松崎洋子教授（広報委員長）と、大学設立準備室時代から北垣学長と苦楽を共にしてきた長澤雄介総務課長が、学長の現在の心境をお伺いしました

## ●学長退任にあたって

**松崎**…北垣先生は今期限りで三期十二年お務めになった学長職を退任されることになったわけですが、今のお気持ちを聞かせ下さい。

**北垣**…大変複雑でありまして、一方において京都に帰れることは大変にうれしい気持ちなのですが、しかし、僕の後を引き継いで下さる新井明先生や、十二年間いっしょに働いてきた皆さんに、いろいろな意味においてご苦労をかけることになると思うと、京都でただひたすらお祈りしています。としか言えませんね。



京都にいらしたわけですが、十二年間過ごされた新発田での暮しはいかがでしたか。

**北垣**…結局十三年間過ごしたことになりますが、大変住みやすいところでずし、新発田の人たちも大変親切な方ばかりだったし、ロータリー・クラブに入れていただいたおかげで、いろいろなところで地元の方々と親しい交わりができました。家内も合唱団の皆様や、外国から新発田市周辺にお嫁に来た女性に日本語を教えるグループの皆様にとても良くしていただきました。

魚も果物も新鮮、コシヒカリも酒もおいしいわけですし、僕は個人的には新発田に永住したいくらいに思っておりますが、家内が「冬場の太陽が恋しい」と言っておりまして、離婚してまで新発田にいるわけにはいかなないので（笑）、四人の孫と二人の子供が暮す京都に帰ることにしました。

## ●学長予定者就任秘話

**長澤**…先生は一九八九年二月に学長予定者をお引き受けになられたわけですが、その経緯をお聞かせ下さい。

**北垣**…敬和の開学については、僕が登場する前に実にいろいろなドラマがあったのです。その頃のことは三月に発行される『敬

和学園大学研究紀要』に書きましたし、そこで書ききれなかった分は別途パンフレットのような形で三月二十二日（北垣学長さまよなら講演会）に配って下さるということなので、そちらを読んで下さい。本当に感動するエピソードが載っています。

僕が登場したのは、大学開学に困難な状況が生じ、一時申請を取り下げ、当時の理事長、学長予定者とも身を引かれた時で、学校法人敬和学園は全く前進することができない状態でした。それで一九八九年二月十二日の深夜に松井愛美理事から「学長になってくれ」という電話がありました。

**松崎**…松井先生とは以前からお知り合いだったのですか。

**北垣**…はい。同志社でお目にかかったことがありまして、その時は大学の創設費の寄付のお願いにいられた時で、僕はとりあえず二万円の寄付をさせていただいた程度でした。

松井先生からそういう要請があったものですから、同志社大学で親しくしていたケリー先生に相談に行きました。ケリー先生は、僕の親友で神戸女学院長の岡本道雄と学長予定者を降りたばかりの深田未来生さんと呼んで三人で相談に乗ってくれました。親身になってくれましたが、結論は冷たいもので、「実存（北垣先生のあだ名）が行きたければ行けば良い、行きたくなければ行く必要はなからう」というものでした（笑）。

## ●晴れ男の所以

**長澤**…先生はどの時点でお引き受けになったのですか。



# 北垣宗治学長 退任インタビュー

**北垣**…ケーリ先生たちに相談した直後に、後宮俊夫理事長と春名康範理事が同志社の研究室に來られて、「ぜひ頼む」と言われました。それで僕は、引き受ける前にいっぺん現場を見たいと言いました。これは家内の意見で、「見もしないで決めることは良くない」と言うのです。そしたら春名理事が早速翌日の飛行機の予約をして下さり、二月十五日に伊丹空港から理事長、春名理事と僕達夫婦の四人で日本アルプスを越え新潟に着いたら…

**松崎**…すばらしい晴天で、その後も大学の大事な行事の度に天候に恵まれ、先生は晴れ男と言われたのですね。

**北垣**…そうです。でもそれまでは言われたことはなかったのですよ。

話を戻しますが、新潟に着いてすぐ敬和学園高等学校に連れて行かれました。そこで当時校長だったモス先生と川嶋教頭と堀川寮長に会いました。堀川先生は以前大津教会の牧師をしていらしたので、面識がありました。しかも新発田の出身でした。堀川先生からは「北垣先生、あなたは火中の栗を拾うことになりますよ。」と言われま

した。モス先生ご夫妻には大歓迎されました。その後新発田に行つて、まだ新新バイパスが完成していない時で、土を盛った土手が上がって大学用地を見て、写真を撮りました。そして次に新発田市役所に連れて行かれました。そこには当時の近寅彦市長が待つておられて、あたかも学長を引受けただかのように「良く来て下さいました」と歓迎されました。

そしてあなた（長澤）に新潟空港まで送

ってもらったのです。そして新潟空港で後宮理事長にお引受けしますと返事をしたのです。この時も家内から、「いつも私に相談せずに重要なことを決める」と怒られました。それは今でも言われます。

**松崎**…ご決断された一番の理由は何だったのですか。

**北垣**…学長を決めることがこの人たちにとつてどれだけ重要なことかが良くわかりました。ですから「義を見てせざるは勇なきなり」という気持ちでした。その後、後宮理事長の奥様から、「学長予定者が決まった時の主人の嬉しそうな顔を今でも覚えている」と言われています。

**長澤**…学長予定者が決まらないまま、理事会の中心メンバーが集まって善後策を講じていた時のメモを見たことがあります。一日かかって、それも夜中までホテルの一室に閉じこもつて協議をされたようです。「苦悩の時を過ごした」との記述もありました。

## ●設立準備室時代

**松崎**…設立準備室時代はどのようなものだったのですか。

**北垣**…僕はあの時まで同志社大学の教授でしたから、授業のない日を選んで夜行列車や飛行機で新発田に來ておりました。

夜行は当時「つるぎ」と「北国」がありました。今では「つるぎ」はありません。寝台車はなかなか眠れないので、お酒の力を借りました。飲み足りないと思えないし、飲みすぎると早く目が覚めるし、なかなか難しいものです。

**松崎**…学長予定者に就任されて、最初のお

仕事は何だったのですか。

**北垣**…カリキュラムの作成と教員集めが中心で、文部省（当時）との折衝も大きな仕事でした。土地や建物、地元との関係は、春名理事が中心になって理事の方々やつてくれました。

**長澤**…教員人事については、初代学長予定者の野本先生がおやりになった仕事の不足や入替え分を先生がやられたのですね。

**北垣**…そうです。ここにおられる松崎先生は僕の人事と言うよりも、春名理事が名前を挙げて下さったのです。



大学設立準備室前にて  
前列左より、高橋理事、後宮理事長、春名理事、北垣学長、松井理事

## ●鬼の北垣先生

**長澤**…松崎先生は、同志社時代、北垣先生の授業を受けていたのですよね。

**北垣**…そうですね。実は記憶にはないの



# 北垣宗治学長 退任インタビュー

ですが、写真を見るとかわいらしい顔（←）で写っています。春名理事の奥様も僕の学生だったのです。僕は同志社時代は鬼の北垣と言われた厳しい教員でして、春名夫人は単位を取ったそうですが、オリオン印刷（株）の石田社長夫人は、僕の授業の単位を落としたそうです。

**松崎**…私も落としました（笑）。

**長澤**…先生は本学でもそういう厳しい評価をなさるつもりだったのですか。

**北垣**…そんなことをしたら大学が破産してしまいます（笑）。同志社の時の基準で、僕の授業が必修であれば、八割の学生は卒業できませんよ。なにしろ三百人のうち二百人落としていたのだから。

**松崎**…開学して間もない頃、その「鬼」の北垣先生が、ある教員が厳しい評価をした時に、「どうしてこんなに落とすのですか」と言われたのです（笑）。同志社の時とは随分変わられたと思ったものです。

## ●人との出会い

**松崎**…新発田市、聖籠町で最も印象に残った方々についてお聞かせ下さい。

**北垣**…まずは新発田建設（株）社長の渡辺幸二郎さんでしょうね。渡辺さんは本学の聴講生の後、新潟大学大学院で博士号を取得されましたが、あのような社長さんは初めてですね。学者タイプというか、非常にまじめな方で、現在はオレンジ会長として、大学に貢献いただいておりますし、公私共に大変お世話になりました。

前聖籠町長の長谷川築作さんも印象深い方です。聖籠町の発展にご尽力されたことはもちろん、本学の誘致の協力を当時の県

知事の君さんから要請された時、その場で承知されたとお聞きしました。対議会の問題もあったと思うのですが、その決断力には、心から敬意を表したいと思います。本学で最初の名誉文化博士号を贈呈できたことは、本当に良かったと思っています。まだまだ多くの方たちとの出会いがありました。短時間に言い尽くせない思いでいっぱいです。

## ●講演会の思い出

**松崎**…先生の交友関係を通じて、著名な方々が新発田で講演などをして下さいましたが、思い出話などお聞かせ下さい。

**北垣**…最初に来たのは二谷英明でして、同志社時代の同級生でした。僕は結婚式で休講することなどないのですが、かつて二谷友里恵が郷ひろみと結婚する際、あんまり出てくれと

言うもののですから、午前の授業だけやって午後の授業の学生に、「どういう結婚披露宴だったか君たちに報告するから休んで良いか」と聞いて、「うぞ」と言うので参列



創立10周年記念特別講演会にて  
左より、ドナルド・キーン博士、小和田博士夫妻

しました。

小和田恆さんは新潟県出身であることは知っていたのですが、新潟市で講演会があった、終了後に「あなたのお生まれになった新発田にできた大学の学長ですが、一度新発田で講演して下さい」とお願いしました。当時は国連大使でした。忘れていたところに、ある日、国連から「この日に行ける」とファックスが届いたのです。ただその日は村上市での企画と同じ日、開始時刻のことで村上市と調整がつかなかったものから、小和田さんに相談したら、「うまくいかないなら、どちらにも行かない」と言われて、大変困りました。そこで両者が少しづつ譲歩してやっと実現したのです。とても内容のある講演会でした。

ドナルド・キーンさんは、オーテス・ケリーさんと戦友でして、しばらく京都に留学していたことがありました。長年の友人で、僕が呼んだらいつでも行くよと言ってくれています。ただ冷や冷やしたのは、十周年記念講演会で小和田、キーン両先生が講演した時、まだ皇太子妃ご懐妊の発表がなかった時期にもかかわらず、明治天皇のお后に子供がでなかった話をキーンがした時です。小和田恆さんご夫妻が目の前で聞いていたので、本当に身の置き所がありませんでした。後でそのことをキーンに話したら、「あそこで止めるわけにいかなかった」と言っていました（笑）。その後すぐに雅子さんが懐妊になったのです。

## ●うれしいこと、つらいこと

**松崎**…先生の十三年間の中で、最もうれしかったことは何ですか。



# 長学治宗垣北 インタビュー 退任

**北垣**.. もちろん一番は、大学の設置認可をもらったことです。ただこれは段階を経てのものでして、設置認可申請と寄附行為変更認可申請の二つの申請があるのですが、徐々に書類を完成させての申請になるわけです。従って、認可書もらってうれしかったですですが、天にも昇るほどのことではありませんでした。やはり日々の努力で上り詰めたという感じですよ。

**長澤**.. そうですね。準備室で仕事をしたものとして、文部省に申請書類を提出し、受理された瞬間が一番の感激でした。

**北垣**.. 僕もそう思います。徹夜で書類を作成し、文部省には故稲葉修代議士が待機していて一緒に折衝して下さったと聞いています。準備室の職員はみんな徹夜明けで文部省に乗り込んだわけですよ。

**松崎**.. 逆にびっくりしたことは、**北垣**.. そうですね。特にはありませんが、開学後、大学運営委員会で大先生同士の厳しく対立された時、おろおろしていた自分が情けなかつたですね。

●**座右の銘**  
**松崎**.. 先生の座右の銘はありますか

**北垣**.. しいて言えば、僕が第一回入学式の最後で言った「私が敬和学園大学をつかった、敬和



入学式にて

学園大学が私をつくった」になります。初代学長として、私が敬和学園大学をつくったということは一応言えると思うんです。けれど、それを言うだけでなくて敬和学園大学に私がつくられたというところを忘れてはいけません。十三年間、もがき、苦しみつづ格闘してきて、喜びも大いにあった訳で、今日の自分を作ってもらったのだと思っています。

## ●健康の秘訣

**長澤**.. 先生はお元気で、とても京都で隠居されるような感じはしません。

**北垣**.. 新発田では自宅のマンションから大学まで毎日歩いた時期があります。一時エレベータを使わずにマンションの九階まで上ったこともありましたが、歩いた上にさらに階段というのはまるで比叡山の坊さんの荒業のようで、そこまでしなくてもよいと思いました(笑)。

退職後はなるべく引っ込んでないで、役に立つことがあったらやっていきたいと思っています。

**長澤**.. 先生のお力を必要とする企画ができれば敬和にも来ていただけますか？

**北垣**.. 行きますよ。「北国」に乗ってね(笑)。

## ●学生へのメッセージ

**長澤**.. 最後に学生に向けて、一言お願いします。

**北垣**.. 敬和学園大学のキャッチフレーズの「自分を知る。世界を知る。」、それだと思います。それにつきます。いいことばです。

**長澤**.. **松崎**.. ありがとうございます。

## 北垣宗治学長 さよなら講演会

本学が開学した一九九一年以来、二期十二年の間学長として尽くされた北垣宗治先生が、今期末の三月をもって退任されます。北垣先生は、開学前の一九八九年二月に、学長予定者として就任され、それ以来十四年間に渡り、敬和学園大学の発展のため尽くしてこられました。

北垣先生が退任されるにあたり、次のとおり講演会・送別会が予定されています。

在学生、卒業生及び保護者の皆様はもちろんのこと、一般の皆様もご出席いただけます。在学生及び卒業生の皆様には別途ご案内いたしますので、そちらをご覧ください。

皆様のご参加をお待ちしております。

三月二十二日(土)

《北垣宗治学長さよなら講演会》

会場 新発田市生涯学習センター

時間 十六時〜十七時三〇分

《送別の会》

会場 新発田ベルナール

時間 十八時〜

参加される方は、二月末までに  
お申し込みください。

※申込先

敬和学園大学総務課総務係

TEL (〇二五四) 二六一三三九四

FAX (〇二五四) 二六一三六四六

somu@keiwa-c.ac.jp



# をばとこ 長とこ 学とこ 垣とこ 北とこ 送る

## 北垣宗治学長を送る言葉



学校法人敬和学園  
理事長  
後宮 俊夫

北垣学長が三月末を以って勇退されることを表明されました。誠に惜しんでもありません。あることで残念でなりません。

一九八八年学校法人敬和学園は新発田市と聖籠町の誘致に答えて大学設立の申請を進めてきましたが、いろいろな事情があつて年末にいったん申請を取り下げ、再申請ということになりました。このときに新しい学長予定者として北垣宗治先生を迎えました。

理事会としては、同志社大学の現任教員である先生にこの様な時期になって来ていただけるか不安を持ちながら、どうしても先生に来ていただかなければというので要請に上がりました。後ほど伺いますと、このとき先生は新島襄の晩年の書簡を読んでおられて、新潟の伝道を深く憂慮しているところに触れて、主の御心と受けとめて引き受けられたそうです。

それから早速に新発田に來られて、開学準備に全力投球されました。特にいったん取り下げた申請を文部省の審査にパスするように、限られた時間内で大変なご苦労をされて再申請した結果、敬和学園大学は誕生したのであります。

開学後は、リベラルアーツ教育を進めるために尽力されたことは大方の承知のとおりです。

世に取り沙汰されていた大学危機が、敬和学園大学でも顕在化してきます。それ

前からこの問題に備えて大学改革を図られました。先生の人柄から教員全員の同意を求めて進めようとされたため、なかなか改革は進展せず、学長は交代して、強力に改革を進めるべきだと考えられて勇退を決意されました。

先生は開学以来三期十二年にわたつて学長を務めてこられ、学内でも、地域でも尊敬、信頼されておりました。お引き留めしましたが、先生のご決意は変わらせず、残念ではありますが承認せずにはおられません。この上は、先生のご決意を尊重して、先生の敷かれた改革の路線を、教職員が一致して進めることが先生の長年のご苦労に應える道であると思います。

## 学長御夫妻に感謝



オレンジ会長  
渡辺 幸二郎  
(新発田建設株式会社)

北垣学長が敬和学園大学を離れられると、うかがつて私は淋しさを禁じ得ません。新発田市と聖籠町が官民挙げて誘致し、学長が設立に心血を注がれた大学校舎起工式が、一九九〇年三月にキリスト教式によって執り行なわれました。そのとき私は阿賀北の地に四年制大学が誕生するという感激を味わいました。私は共同企業体の四つの建設会社のスポンサーとして起工式に参列したのですが、式典は今でも鮮烈な記憶として脳裡に描かれています。

一年間の工期を経て翌年三月に校舎が完成し大学が立派に開学しました。私は感謝状を頂いた嬉しさとともに、心の中でこの地にキリスト教主義を掲げる大学の開学が

最大の喜びでした。工事期間中にも新々パイパスに面する校地にクリスマスツリーが光を放ち、人々にキリスト教の大学の誕生が間近であることを告げていたことを思い出します。

北垣学長は大学設立当時の非常に困難な時から今日まで、学長としての仕事は勿論のこと、住民との交流を通じた当地域の文化レベル向上のために、景子夫人とともに尽力されました。それは開学以来、毎年開設される大学市民講座や、新発田まつりへの参加、ロータリークラブでの集中講座など、学長の地元住民のための努力は市民の誰もが忘れ得ないことです。

敬和学園大学とノースウエスタンカレッジとの姉妹校締結も、北垣学長の御人格によるとうかがっています。敬和の学生達が海外で自らの学業の充実に努める機会を得たことは、生涯にわたつて極めて意義深いことでもあります。私も二回、オレンジシティとノースウエスタンカレッジを訪問する機会を頂きましたが、キリスト教の精神が街中に浸透し、大学自らも大きなチャペルを持つ堅い信仰に基づいた教育が基礎となつて、大学にはよく学ぶ学生達が満ちていました。

私達が訪問した日、マーフイー学長邸での昼食会にお招き頂くなど破格の御款待を頂きました。北垣学長御自身は変らぬ温顔と親切さで私達に接しておられたので、彼の退任など夢にも思いませんでした。いま私は十二年間以上に及ぶ学長と夫人の御苦労に心からの感謝と共に、これからも敬和学園大学のために祈りをお願い申し上げます。学長と景子夫人いつまでもお元気で過ごして下さい。







# 卒業生からの メッセージ

## 北垣学長との学園メモリー

一九九六年度卒業生 鈴木 貴之

北垣先生が、単に偉い人ではなくおもしろい人だと確信した小話。

母親と一緒に入学金を納めに来た時にその場から逃げ出した学生を説得するため、駅まで自転車で追いかけたという逸話。わざわざ学長が、しかも自転車というところが不謹慎かもしれませんが正直おもしろいです。学長は本当に演出家だなあと思いますが。教職員と学生が垣根なく交流できる場づくりを率先して作られ、真剣に取り組んでおられるということを自らの行動で我々に示されたということですよ。

この話に限らず、北垣先生は「おもしろいこと」を感覚的に受けとめてくださるセンスをお持ちでしたので、学生時代に「FUNK FILM（映画映像部）」でビデオ映画『学生仕事人』を撮った時も、嫌な顔もせず、一番に反応してくれましたね。あしかけ五年続いたシリーズでしたが、先生を通して、様々な教員陣と組むことができたのも、今では大きな財産です。最終作では、自らが学長役で出演することで、体現されました。「主演ですよ」と騙してお誘いしましたが、結局『ハリポッター』の校長のようにわずかな場面でハイおつかれさまでしたね。ですので今一度、先生とは組んでみたいものです。

私の次回作『良寛は2度死ぬ』の良寛役はいかがでしょうか。頭を丸めなければなりません、が、よろしかったら「一報下さい。学長は私のようなダメ学生も対等に接し

てくださいったことは忘れません。今後も先生のおっしゃるように「打たれ弱くとも、打たれる杭」になっていきたいと心に誓う日々です。



鈴木さんの自主製作ビデオ映画「鳥の見える街」製作発表の様子

## 北垣学長、こんにちは

一九九六年度卒業生 丸山 仁史

僕は今、運送会社に勤務して四トントラックを毎日動かしています。この仕事も四年目を迎えあいかわらずやりがいと充実感に満ちてがんばっています。

敬和学園大学を卒業後、僕は福祉の仕事を目指し専門学校で学んだ後、地元群馬で就職活動をしていました。しかし様々な理由で僕は挫折を経験しました。そんな時トラックの運転手と接する機会があり、「こういう実力勝負の世界で働きたい！」などと無茶な考えのもと自宅からすぐそばの運送会社に履歴書を送りました。福祉の就職活動でどんなに無理して自分をアピールし

ても落とされ続けた自分がこっちの世界では一回目の会社ですぐに認めてもらいました。

すごい世界でした。上司に胸ぐらをつつかまれ、蹴りとばされました。睡眠時間は毎日三時間で、事故との恐怖と闘い続けました。でも絶対負けたくないという思いと後がないという思いとが必死に自分を支えていました。そしてこの根性が認められ、今では蹴りとはした上司も「お前が今まで俺が教えた中で一番かわいしい根性のある奴」などと言ってくれます。

もう一つ僕を支えてくれたのは友人という強い力です。僕は今でも群馬の母校新島学園高校時代の友人とつき合いが深いし、新潟の敬和学園大学の友人とは今でも親友です。嬉しいのは新島の友人と敬和の友人が仲良くなって群馬と新潟で交流しているということですよ。そんな事を思うたびに「ああ、俺は敬和に行つてよかったなあ」と思います。

毎回寄付しているのは正直に言うとお校心とかいう大げさなものではなくて自分の人生にある四年間がとても影響していることとすばらしい友人と思いついて満ちた四年間に感謝しているということです。今でも仕事で新潟に行つて新新バイパスからオレンジの校舎を見ると、隣に座っている後輩や助手の人に「あれが俺の出た学校なんだよ！すげえ楽しい四年間だったんだよ！」って言います。学長、こんな思いにしてくれる敬和に僕はすごく感謝しています。またこんな気持ちになってくれる卒業生が一人でも多くなるようにと願っています。



人気授業をサーチする

## 日本語教育入門 1・2

授業のねらい

当たり前前の母語を学ぶ

契約講師 有田 佳代子



科目等履修生  
佐々木 亜貴

外国から来た人が日本社会に軟着陸するために、交流の道具としての日本語を母語とする私たちに何ができるのか——クラスでは、学生の皆さんと教員がこのテーマをめぐって考え合っています。

そこには、異文化間での対人関係の形成のための知識や技能と、外国の人々の日本語学習をお手伝いするための具体的な知識や技能という、2つの面があります。

「入門」のクラスでは、若干前者に重きを置きつつ、両者が並行して進んでいます。

水曜クラスも木曜クラスも、少人数ながら受講生の皆さんは本当に意欲的に取り組んでおられるので、私も毎回皆さんに会うのが楽しみです。皆さんがクラスでの活動のなかで、自分の立場から自分を見つめていくだけでは見えてこない部分を、一旦自分の立場を忘れて他者の視点から自分分を客体視することによって、いろいろ見えてくるものが出ていていかれたらいいなと思います。



普段、何気なく使っている日本語。当たり前ですが、私たち日本人はその都度、深く考えることなく、その状況に合わせて言葉を選んだり、動詞を変化させたりして日本語を使っています。そんな当たり前前の母語ですが、いざ日本語を母語としない人に「どうして人や動物は『いる』で、物は『ある』って言うの?」と聞かれた時、私は説明できず、「どうしてだろう?」と考えてしまいました。そんなことがきっかけで、このクラスを受講しました。

「日本語教育とはどういうものか?」という概論や語学学習の他にも興味深い授業がありました。「聞いてみたいこと」という題目で、敬和に在籍する留学生と日本人学生との作文交換や、「日本人の友達観」について外国人の方へのインタビュー。これらからは「文化・生活習慣の違い」「日本に住む外国人の苦悩」など、今まで全く考え及ばなかった事を、じかに知ることができました。

実戦で必要とされる語学学習だけでなく、「交流の大切さ」や「指導する側が考慮すべき点」などにも触れながら、生徒1人1人が積極的で、且つ、有益な授業を和気あいあいとした雰囲気の中で、毎回、楽しく受講することができました。

## 二〇〇二年度

### 訪問介護員三級養成研修事業報告

二〇〇二年度も二〇〇一年度に引き続き、「ボランティア論B」の受講生が訪問介護員三級取得に挑戦しました。

学生は講義、実技を通して老人福祉、障害者（児）福祉、家事援助、介護技術などホームヘルプサービスに関するおおよそについて学びました。

特に今年度は、新潟料理学校校長の小林瑠美子先生を講師にお招きし、新発田市公民館において調理実習を行いました。学生たちは「源氏めし」、「肉じゃが」、「酢の物」など、老人介護に必要なとされるメニュー作りを体験し、知識のみならず調理技術を楽しく身につけることができましたようです。



また、八月から一〇月にかけて、新潟県内で計二十二の老人福祉施設や社会福祉協議会に学生を受け入れていただき、同行訪問・デイサービス等見学実習を実施し、この実習を修了した五十六名の学生が、晴れて訪問介護員三級の資格を取得しました。

修了者には、この実習の体験を生かして、今後、愛と奉仕の心をもって社会福祉活動等に取り組んでくれるように切に期待しています。  
(ボランティア委員長 永野)



# ボランティア

## 好評！ 学生による『英語ボランティア』

小学生にも遊び感覚で英語になじんで欲しいと本学の学生が聖籠町立蓮野小学校で英語ボランティアの活動を始めてもう八ヶ月になります。一年生から四年生を含む本学学生十二人が低・中・高学年向けのグループに分かれて、それぞれ週一回のペースで活動を続けています。

この度、蓮野小学校を訪問し、山口又一郎校長と吉田セツ子教頭のお話を伺い、この活動が生徒や先生方だけにではなく、保護者の方々にも大いに歓迎されていることがわかりました。

山口校長は「敬和の英語ボランティアの方々には本当に感謝しています。子供たちも敬和のお兄さん、お姉さんたちと過ごす一時を楽しみにしており、ゲームなどを通じて、自然な形で英語に入っていけるようです。」と語ってくださいました。また、「何よりうれしいのは、敬和の学生さんたちがこの活動をするには、自分たちのためにもなっている、自分たちもこの経験から沢山のことを学んでいる、と言ってくれることです。このような敬和の人たちの姿勢はすばらしい」とも。子供たちが「今日は敬和のお兄さんからこんな英語を習ったよ」と家で再現してくれ、保護者の方々もとても喜んでいてと学校に知らせてくださることもあるそうです。

吉田教頭も本学学生の積極的な取り組みや生徒との関係が本當にうまくいっていることに言及され、「他の小学校から問い合

わせがあったりするが、敬和さんには今後もずっと蓮野小学校でこの活動を続けて欲しい」とのことでした。

こちらの学校では校内放送を英語で流したり、近々英語のスピーチ・コンテストを催す予定もあり、本学ネイティブ・スピーカーの先生方の協力もあって、英語への関心は高いとか。英語ボランティアの貢献度も大きいようです。

山口校長が最後に付け加えられた「敬和の学生さんの良さは英語を教えてくれるというだけじゃないですよ。みんなとても温かく、生徒にとって相談相手みたいな存在なんです」という言葉が心に響きました。英語ボランティアの皆さんありがとう。

(広報委員会)



## 英語ボランティアを通じて得たもの



英語英米文学科一年  
佐々木 美佳

私達は、毎週火曜日に蓮野小学校で昼休みに英語を教えるボランティア活動を行っています。ボランティア初日、子供達への接し方に不安を感じる反面、子供達との出会いに対する期待感を抱きながら第一歩を踏み出しました。主な活動内容は、英語での挨拶、アルファベットの学習、英語での自分や家族の名前の紹介、ピング・ゲーム等です。子供達は、全く英語に触れたことがなく、はじめのうちはほとんどなくぎこちなさがありました。また、私達も何から教えたらいいいのかも分からず、悪い、苦戦していました。しかし、一緒に学習していくうちに子供達は英語に興味を示し、積極的に英語と関わりを持つようになってきました。そして私達も、いつも満面の笑みで迎えてくれる子供達のパワーのおかげで徐々に不安感がなくなってきました。たとえ、学習計画を立てるのに行きづまっても、子供達の笑顔を思い浮かべると頑張らなければならぬという気持ちになりました。ここまでやってこれたのも子供達や先生方、メンバーのみんなのおかげだと思っています。ボランティアを通して得たもの、それは、人とコミュニケーションをとることの大切さ、教えることの難しさです。私達にとってボランティアは、他の何事にも代えられない貴重な経験の一つです。



# 敬和祭

## 自ら進んで知性を生かせ 第十二回 敬和祭の報告

第十二回敬和祭は、去る十一月九日(壬)・十日(巨)の両日に行われました。

初日は悪天候にも拘らず、プロのボーカルグループ「AJI」のライブは約三百人の入場者で、五人のハーモニーズが醸し出す柔らかな音空間を満喫できました。開学以来初めてとなる体育館でのプロのライブは、今後の敬和祭の実施への励みとなりました。一方、同日開催の山形県酒田市「黒森歌舞伎」による新発田ゆかりの堀部安兵衛の「高田馬場十八番斬」は地元の約二百人の観客の笑いと掛け声で盛り上がりました。二日目は晴天に恵まれ、全国骨髄バンクの語り部「大谷貴子氏文化講演会」を始め、「NAMARAトークライブ」、「学生ライブ」が大盛況でした。

また、初日は「新潟万代太鼓」、二日目は「聖籠太鼓・響」の力強い演奏が敬和祭をさらに盛り上げました。そして茶道部の「茶会」は心静かな時空間を感じさせました。

学生団体による屋台は、「キムチ鍋」「イカチーズ焼き」「とん汁とおにぎり」「モンゴル料理」などバラエティに富んだメニューが用意され、来場者の食欲を満たしました。

(学生部長 神田)

## 敬和祭を終えて



国際文化学科四年  
敬和祭実行委員長  
伊関 望

無事敬和祭を終えた今、私の思い出は、一日目は屋台でひどい雨風と戦いつつ終えた、二日目は晴れたおかげで、広場で人が賑わい、片付けもしやすかった、ということと  
ころです。

細かいことはいろいろとありましたが、「後輩を育て、敬和祭を後世に残していく。」という私の役目を果たすことができ、ホッとしています。とにかく無事終わってよか

った、これが私の一番の感想です。

一日目は雨の中、「AJI」のライブや山形黒森歌舞伎の公演のために、多くの方が大学へ足を運んでくれました。大変盛況でした。「よかった」という声も聞け、お金をかけた甲斐があったと思いました。ひどい雨風の中、屋台のテントが飛ばされたのは、学生の願いが天に通じたのでしょうか。さすが敬和!

二日目は、FMしばたの生中継も入り、晴れの天候も後押ししてますます活気づきました。敬和祭には、「学長がいらっしゃると晴れる」というジンクスがありますが、その通りでした。一日目も来て下されば、晴れていたのかもしれない。

私は思います。大切なのは、一人ひとり心の持ち方にあると。熱意を持って参加



し、取り組んだ人にこそ、敬和祭の醍醐味  
がわかるのです。それは敬和祭に限りませ  
ん。何かに夢中になって取り組むことで、  
得るものはきっとあるでしょう。その良さ  
を多くの学生に感じてもらいたい、もっと  
興味を持ってほしいと願っています。まず  
大切なのは、挑戦しようとする心意気です。  
敬和祭が成功できたのも、そこに参加し、  
ご協力して下さった方々あってのことで  
す。感謝!!



# 敬和祭

## 演劇研究部公演顛末記



国際文化学科二年  
藤井 智也

月日の経つのは早いもので、敬和祭が終つてから一ヶ月余りが過ぎました。人の感覚というのは不思議なもので、そのひと月がついに二、三日前に思えたり、また逆に何年も前のことに思えたりもするのであります。

さて、その敬和祭で私たち演劇研究部は、「リヤンの拳」という演劇公演を行っていました。

「私たち演劇研究部は」といっても正式な部員は二人しかおらず、公演の関係者の八割が助っ人という寄せ集め部隊でした。その人材が揃ったのもギリギリというより若干遅れ気味の公演およそ一ヶ月前でした。

そもそも何故こんな無謀ともいえる企画に乗り出してしまったのかという話は七月まで遡ります。

敬和祭実行委員長の伊関さんに「敬和祭でなにか公演をやってほしい」とお願いされ、

「わかりました、やりましょう」

と、すべて私の一存で決めました。結局、後先は考えずに決め、なるようになれ！とばかりに発足したのであります。無論、

この話は私たちにとってチャンスでもありました。部員二名の弱小演劇研究部がここで成功を収めれば入部希望者が出るかも知れない、そんな期待が胸をよぎりました。しかしその前に先ず目の前のことです。

台本と人材。台本はもう一人の部員である山本が「書きたい」といったので彼に書かせました。けんかに負けた少年がその悔しさをバネに立ち上がるというストーリーです。登場人物は私が必要最小限に減らし、その出演者として友達に片っ端から頼んで回りました。しかし元来私には決して友人が多いわけではなく、まして演劇ともなるとそう簡単には協力者が見つかりませんでした。それでも最終的には8人+αの人が手伝つてくれて、深謝。

その面子で本番当日に臨んだ訳ですが、皆さんよくやつてくれました。直前までトランプ続きで一時はどうなることかと思いましたが、無事公演を終えることができて万々歳であります。



## 行列のできるカレー屋さん

就職指導室 長澤 廣子

敬和祭の屋台に参加させていただき今回で三回目となります。沢山のひととの出会い、また学生とのふれあいが最高の喜びです。普段見ることのない学生達の姿、一生懸命さがとても新鮮で輝いています。保護者の方もこんな意外な一面を見に、四年間のうち一度は敬和祭をご覧になられてはいかがでしょうか。



さて、私たちの屋台は「行列の出来るカレー屋」さんでした。ほんの少し自信を持つて販売しました。結果はと申しますと、お蔭様で大好評のうち完売することが出来ました。食べて下さった皆様いかがでしたでしょうか？カレー同様辛口のご意見をお聞かせください。

最後に私達のメンバーを紹介させていただきます。後援会の前会長の石井さんご夫妻、前副会長の尾川さん、職員の小竹さん、鈴木さん、村山さんそして私、長澤でした。「来年は私も」と思われる保護者の皆様、ご参加いただけましたら嬉しい限りです。



## 第二回リフレッシュ・セミナーを開催して

去る一〇月二十六日に開催された第二回中学校・高等学校英語科教員対象リフレッシュ・セミナーでは、中学、高校の先生方や塾の先生、教職を目指しておられる学生さんなど四十三名の方にご参加いただき、英語教育という共通の目的を持った人々の豊かな交流の時を持つことができました。

今年度のリフレッシュ・セミナーは「学習者を中心とした英語の授業」をテーマとして掲げてプログラムを企画しました。

当日は、本学の外国語プログラムのなかから「ニュース・イシューズ」という現代社会のさまざまなトピックに関するディスカッション型のクラスの一部を公開し、プログラム参加者に一緒にディスカッションに参加して頂きました。ワークショップやトーク、デモンストレーションでは、本学非常勤講師の古川登美子先生の「グループでの口頭コミュニケーション活動」、本学教員による「グループ活動のためのヒント」「会話練習のためのドラマ・テクニク」「授業で使えるウォーミングアップやゲーム」「インターネット英語」「ディスカッションとデイベート」「中・高生に知ってほしい辞書を読む楽しみ」「オンライン

NTOEIC」など、すぐに教室での応用ができそうなものや授業活性化のためのヒントとなるもの、現場で教えておられる先生方の「英語を使いたい!」というニーズに応えようとするもの、先生方に考えていただきたいトピック、英語の授業へのコンピュータの導入など、現実的で実践的なセミナーとなるよう工夫しました。できるだけ体験型のプログラムをというのが企画側の目指したところでしたが、アンケートによれば、おおむね好評だったようです。ここにアンケートからのご感想を紹介させていただきます。

「グループ活動のためのヒント」に參加した。カードを作り、話を組み立てていく作業。グループで一発懸命考え発表する。全部英語で行う。生徒には少し難しいかもしれないが、楽しくおこなえ、力もつくと思う。また、地方、地方の有名なスポットを發掘し、四〜五人でインタビューし、それを發表する。創造的な活動は実に有益な結果を、英語学習にもたらしてくれると思う。

(新潟北高等学校 高橋修一先生)

実際に英語をコミュニケーションの道具として使い、それがうまくいった時の嬉しさを生徒に実感してもらうためのいくつかの方法を今回示していただき、久しぶりに生徒の立場として楽しく勉強さ

せていただきました。英語の基礎となる語彙力や文法力を身につけさせ、生かして使わせることについて、これからも考えていこうと思いました。私自身、セミナーに参加したことで、ますます勉強していかなければという刺激ももらいました。

(豊栄高等学校 田澤千恵先生)

今後は授業のヒントとなるプログラムはもとより、コミュニケーション活動が中心の授業での評価方法の構築、そして英語教員自身の英語力アップの機会提供など、課題は多々ありますが、何よりも私たち大学の教員にとっては、生徒や学生達の英語教育に携わる人々が一つ所に集まり、生の声を聞き、実際に直面している問題などを共有できたことが嬉しく、このような交流の時は敬和の財産になると思います。

お忙しい中、セミナーにご参加下さいましてありがとうございます。今後のセミナーのためのご要望やアドバイスをお待ちしております。また、今回のセミナーのためにお力を貸して下さいました方々に、この場を借りて御礼申し上げます。

(英語英米文学科 金山)





# 生涯学習

## 二〇〇二年度オープン・カレッジが終了しました

本学では、日頃お世話になっている地元の新発田市、聖籠町をはじめ、豊栄市、三条市にて、オープン・カレッジ（公開講座）を開催してきました。さらに今年度からは新潟市でも開催し、おかげさまで今年度も延べ九百九十八名という多くの方々に参加していただくことができました。

新発田市では、昨今の揺れ動く世界情勢をテーマとした「変動する世界とイスラーム」、新潟市では、新潟にゆかりの深い良寛をテーマとした「地球時代の良寛」を開催し、大きな反響をいただきました。

来年度以降も様々なテーマでのオープン・カレッジを企画しております。本学では地域に根ざしたオープン・カレッジを目指しております。皆さまの様々なご意見を指してお待ちしております。皆さまの様々なご意見を指してお待ちしております。

いずれの講座も、地域の自治体のみならず、さまの多くのご協力を得て、無事に開催できましたことをご報告申し上げます。改めてお礼申し上げます。（広報委員会）

### 敬和学園大学 オープン・カレッジ



新発田市オープンカレッジ「変動する世界とイスラーム」  
松本 聡郎 英知大学大学院教授

| 新発田市 「変動する世界とイスラーム」 (新発田市生涯学習センター) |                       |            |           |
|------------------------------------|-----------------------|------------|-----------|
| 5月28日                              | 「イスラーム教とは」            | 松本 聡郎      | 英知大学大学院教授 |
| 6月4日                               | 「アラビア半島とどう付き合うか」      | 遠藤 晴男      | 中東研究家     |
| 6月11日                              | 「文明間の対話」              | 延原 時行      | 教授        |
| 6月18日                              | 「9.11以降のアメリカのイスラーム認識」 | 前嶋 和弘      | 専任講師      |
| 6月25日                              | 映画「カンダハール」上映          | 松本ますみ      | 助教        |
| 7月2日                               | 「パレスチナ問題とは何か」         | 永野 茂洋      | 教授        |
| 7月9日                               | 「イスラームと現代社会」          | 松本 聡郎      | 英知大学大学院教授 |
| 9月28日                              | 「変動する世界とイスラーム」シンポジウム  |            |           |
| 「秋講座」(新発田市生涯学習センター)                |                       |            |           |
| 10月1日～                             | 「仏教とキリスト教の対話」         | 延原 時行      | 教授        |
| 10月9日～                             | 「比べて見ようー世界の民話と童話」     | ジョイ・ウィリアムズ | 助教        |

| 新潟市 「地球時代の良寛」 (代々木ゼミナール新潟校) |                 |                   |             |
|-----------------------------|-----------------|-------------------|-------------|
| 9月30日                       | 「良寛さまの書と逸話」     | 谷川 敬朗             | 良寛研究家       |
| 10月 7日                      | 「良寛と国際交流」       | 加藤 優一             | 新潟大学名誉教授    |
| 10月21日                      | 「良寛の短歌」         | Sanford Goldstein | 教授          |
|                             |                 | 通 訳: 北垣 宗治        | 学長          |
| 10月28日                      | 「良寛とその裏面史」      | 荒井 魏              | 人文社会科学委員研究員 |
| 11月11日                      | 「良寛と地球憲章」       | 延原 時行             | 教授          |
| 11月18日                      | 「21世紀における良寛の意義」 | 松本 市壽             | 全国良寛会常任理事   |

| 聖籠町 「春講座」 (聖籠町町民会館) |                  |      |    |
|---------------------|------------------|------|----|
| 7月3日                | 「新潟が生んだ作家たち」     | 若月忠信 | 教授 |
| 7月10日               | 「日本のゴッホー山下清の新潟」  | 若月忠信 | 教授 |
| 6月6日～               | 「歩いて動いて健康作り その2」 | 久島公夫 | 教授 |
| 「秋講座」(結ハート聖籠)       |                  |      |    |
| 10月9日～              | 「新潟が生んだ作家たち」     | 若月忠信 | 教授 |

| 豊栄市 「教養講座」 (豊栄市ふれあいセンター) |                     |       |                |
|--------------------------|---------------------|-------|----------------|
| 6月19日                    | 「老いを生かす環境作り」        | 山崎ハコネ | ボランティアコーディネーター |
| 6月26日                    | 「ヨーロッパ中世末期における死生観」  | 岩倉 依子 | 助教             |
| 7月 3日                    | 「夫婦・家庭のコミュニケーション」   | 杉村 使乃 | 専任講師           |
| 7月10日                    | 「国際化時代の教育における総合的学習」 | 柴沼 晶子 | 教授             |
| 7月17日                    | 「おんなのくらし西と東」        | 神田より子 | 教授             |
| 7月24日                    | 「親と子のコミュニケーション」     | 北垣 宗治 | 学長             |

| 三条市 「ジェンダー」 (三条市中央公民館) |                       |        |      |
|------------------------|-----------------------|--------|------|
| 10月 7日                 | 「ジェンダー論今昔: イントロダクション」 | 杉村 使乃  | 専任講師 |
| 10月14日                 | 「ジェンダーの視点で見たマリア像」     | 山田 耕太  | 教授   |
| 10月21日                 | 「ジェンダーで読む近代日本」        | 加納 実紀代 | 教授   |
| 10月28日                 | 「グリム童話におけるジェンダー」      | 桑原 ヒサ子 | 教授   |

### <2003年度の夜間開講科目(イブニング・コース)>19:00~20:30

| 科目名            | 担当教員             | 単位数 | 開講期 | 開講日 |
|----------------|------------------|-----|-----|-----|
| カレント・トピックス     | Amy Jenkins      | 4   | 通年  | 月曜日 |
| ディスカッションとディベート | Conrad Matsumoto | 4   | 通年  |     |
| 文学 1           | 若月 忠信            | 2   | 前期  | 火曜日 |
| 文学 2           |                  | 2   | 後期  |     |
| 組織神学           | 延原 時行            | 2   | 前期  |     |
| 新約聖書神学         | 山田 耕太            | 2   | 後期  |     |
| 音楽で学ぶアメリカ文化    | Mark Frank       | 4   | 通年  |     |
| 日本語教育入門 1      | 有田 佳代子           | 2   | 前期  | 水曜日 |
| 日本語教育入門 2      |                  | 2   | 後期  |     |
| 映像で学ぶアメリカ文化    | Joy Williams     | 4   | 通年  | 木曜日 |

## 二〇〇三年度科目等履修生募集

科目等履修生制度とは、社会人や家庭の主婦の方にも、幅広く本学の開講する授業科目を学んでいただけるように設けられた制度です。自分の興味のある、学びたい科目を選択し、受講することができます。

社会人の方などが受講しやすいように夜間に開講している科目もあります。昼間開講科目については、お問い合わせください。対象 高等学校以上を卒業した者、又はこれと同等以上の学力があると思われる者

授業料 一単位につき、一万円  
出願期間 二月十七日～三月二十八日  
申込 問合 敬和学園大学教務課教務係  
(☎〇二五四一六二一五二四)



# 就職

## 就職内定者の体験発表会

去る十一月二〇日(水)に、「就職内定者の体験発表会」が学内で開催されました。本年度就職内定を得た五名の四年生より、一〜三年次生を対象に体験報告をしていただいた後、各ブースに分かれて質問会が行われました。

### 新潟交通(株)内定

国際文化学科四年 村川 隆

私は、新潟交通から内定を頂き、それまでの過程を発表させて頂きました。

昨年は、私自身も今の三年生と一緒に内定者の話をこれから先の不安と共に聞いていたので、今回の発表では非常に複雑な思いでした。当時の私自身もそうであったように、三年生の出席者の中にはまだ多くの方が就職活動を何から始めていいのか分からないのではないかと感じました。

今回の発表会では私他に四人の内定者が三年生にアドバイスしました。就職活動の厳しさや社会人としての自覚、また将来にかける夢といったものが伝わってれば幸いです。ぜひ三年生には、早い段階で自己分析や情報収集などの就職活動のステップを踏んでほしいと思います。

また、この会の最後に各ブースに分かれて三年生一人ひとりのからの質疑応答が行われましたが、これはとても良い企画だと思いました。

今の三年生にはぜひ頑張って、悔いのない就職活動をしてほしいと願います。

### (株)ヨドバシカメラ内定

英語英米文学科四年 前田 素子

初めは戸惑いもありましたが、今回、就職活動体験談の発表を引き受けて良かったです。人前で話すことは、これから働く上で度胸をつけるいい機会となりました。

昨年は先輩方のお話を聞く立場でしたが、最初は、先輩の就職活動の話もさほど実感がわかず、就職活動に対して甘い考えがありました。しかし、体験発表会の参加後には、自分の中の就職に対する意識の変化がありました。

私自身も、就職活動の時が来ると、現実を思っていた以上に厳しいとわかりました。そして、就職に対する準備に早すぎることはないのだと実感しました。まずは、自分がしてみたい仕事内容がある程度絞って探し出すことが大切だと思います。

この経験を生かして四月からは新社会人として頑張ります。本当にありがとうございました。



## 就職懇談会の報告

去る一〇月五日(土)に、「保護者との就職懇談会」がホテルオークラ新潟で開催されました。当日は六〇名以上に及ぶ保護者の方々のご臨席を賜りました。第一部では、「本学における進路指導への取り組みについて(就職委員長)」、および「いよいよ進路は二つ 就職するかしないか(宮川就職指導室長)」のテーマで講演が行われました。また、第二部では本学教員と保護者の方々との懇親会が行われ、和やかな雰囲気の中で日頃の就職指導や学生生活などについて、意見交換がなされました。

また、十一月一日(金)には、「企業との就職懇談会」がホテル新潟で開催されました。厳しい採用状況にもかかわらず、六五社から約八十名の人事担当の方々のご来臨を賜りました。第一部では、「本学における進路指導への取り組みについて(就職委員長)」のテーマで講演が行われました。また、第二部では本学教員と企業の人事担当者の方々との名刺交換が、懇親会を兼ねて行われました。



いづれも、後援会からの多くの援助を得て、無事に開催できましたことを改めてお礼申し上げます。

(就職委員長 福土)



# ご案内

つよつよ終盤

## 二〇〇三年度入試のご案内

二〇〇三年度入試は、推薦入試、一般入試A・B日程、センター入試が終了し、終盤に入りました。現時点でAO、一般入試C日程、社会人、編入学、外国人留学生各試験が残されています。おかげさまで入学予定者数は順調に伸びています。

AO入試は、教員と志願者間の自由面談・相談スタイルで行われます。志願者の学ぶ意欲と知的好奇心が本学でどのように生かされるかをお互いが理解し、納得しあつた上で合格が決定します。三月末日まで随時申込を受け付け、面接日は相談の上、自由に設定されます。

C日程は、「課題面接型」入試です。最初に課題が示され、それについて考える時間が与えられます。そのあとに、課題についてのトピックを中心にした面接が行われます。ちなみに昨年度の課題は大学生活に對する期待を問う内容でした。

本学の入学試験は、学びを通して自分を変えたい、本物を見分ける目を養いたいという意欲の溢れる志願者の個性を積極的に評価します。これまでの教育の中では、十分に生かされなかつたかもしれない一人一人の人間性を温かく、大切に見つめていきます。

各試験の試験日、出願期間については下表をご参照下さい。

(入試委員長 中村)

| 入試区分     | 試験日     | 出願期間            |
|----------|---------|-----------------|
| 一般入試C日程  | 3/10(月) | 2/17(月)～3/ 4(火) |
| 社会人入試    | 2/24(月) | 2/ 3(月)～2/17(月) |
| 編入学試験    | 2/24(月) | 2/ 3(月)～2/17(月) |
| 外国人留学生入試 | 3/17(月) | 3/ 4(火)～3/12(火) |
| AO入試     | (自由設定)  | 3/31(月)まで随時     |

知る  
自分を知る、世界を知る。

## 寄付者ご芳名

一般 小畑 義夫

松井 愛美

小川 文勝

田村 賢雄

東中通教会婦人会

日本キリスト教団

新潟教会婦人会

新潟信濃町教会

新潟YWCA

敬和学園大学後援会

近 伸之

一九九一組 長谷川 淑子

一九九七組 高見 政光

一九九八組 小林 よう子

折笠 一成

クリスマス・ツリー寄贈

柴沼 晶子





# ご案内

## 著書紹介

### 『み手のうちに―激動の時代を生き抜いた八〇年』

日本キリスト教団出版局 二〇〇二年八月二十二日発行

学校法人敬和学園 理事長 後宮俊夫著



本学の理事長、後宮俊夫先生が二〇〇二

年八月に『み手のうちに―激動の時代を生き抜いた八〇年』というタイトルの自伝を上梓されました。和歌山、神戸で過ごされた幼少期、海軍兵学校を経て第二次世界大戦を戦った青年軍人としての時代、「やり方次第では儲けることができた」真珠の養殖の仕事に満足を見えず、生きるべき道を模索していた戦後の一時期、「儲かるわけでもないのに、報われない事を自分を犠牲にしてまでやっているこの人たち」の中にキリスト教の力をみて、キリスト者の道を選び、伝道師、牧師として活躍され、日本キリスト教団の議長まで務められた壮年期、そして本学創設、ケアハウス設立につながる高齢者問題への取り組みなど、現在にいたるまでの波乱に満ちた理事長の人生が淡々と記されています。

特に、海軍大尉として戦艦「霧島」に乗船し、真珠湾攻撃に参加、負傷した上に戦

艦の沈没で九死に一生を得た、一九四二年十二月の「第三次ソロモン海戦」における状況などは当時の戦闘がどういうものだったかを物語るリアルな証言にもなっています。「霧島」の沈没は秘密事項で、家族との連絡も許されず、「あなたは死ぬことになつていたので」服も支給されなかったとか。回復するとまた次の戦闘が待っているような時代でした。

ご自身は小学校時代の級長選挙で理不尽な扱いを受けた経験などから「私の胸の内に反権力、反金持ちの意識が少しずつ生まれたのかもしれない」と書いておられますが、この自伝全体を通して感じられるのが正義感と権力や権威に負けない強い意志と行動力です。

作家三浦綾子による伝記小説、「ちいろば先生物語」で知られる榎本保郎牧師の後任として世光教会を引き継がれてからの後宮先生の活躍はとどまるところを知らません。会堂建築、保育園の改装・移転をはじめ、重度障害者のための作業所「ベテスダの家」の設立など、困っている人々や年老人が必要としているものは何かと考え、次々とそのような人々の居場所を作り続けておられます。まさに行動の人です。

本学の理事長の人となりがよくわかる感動の一冊です。  
(松崎)

## 学事予告

◆一月◆  
二十八日 後期末試験(二月十日まで)

### ◆二月◆

- 一日 一般入学試験(B日程)
- 十一日 春期休暇(三月三十一日まで)
- 十二日 後期集中講義(十五日まで)
- 十七日 後期末追試験(十九日まで)
- 二十一日 学内合同企業説明会
- 二十四日 編入学試験(第二次)
- 社会人入学試験(第一次)

### ◆三月◆

- 一日 人文社会科学研究所主催「地球時代の良寛」座談会
- 三日 再試験(四日まで)
- 十日 一般入学試験(C日程)
- 十七日 外国人留學生入学試験(第一次)
- 二十日 卒業式
- 卒業謝恩会
- 二十二日 北垣宗治学長 さよなら講演会・送別の会
- 二十七日 学長退任式典
- 三十一日 学年終わり





# キャンパス日誌

## 10月

- 4日 チャペル・アッセンブリー・アワー⑭  
 説教 延原時行 宗教部長  
 「ルターの宗教改革の意味—義の再発見」  
 講演 目崎薫 三宝寺住職 「私の半生と教育」
- 5日 保護者との就職懇談会 (ホテルオークラ新潟)
- 7日 新潟市オープン・カレッジ②  
 三条市オープン・カレッジ①
- 8日 新発田市オープン・カレッジ 延原②
- 9日 新発田市オープン・カレッジ ウィリアムズ①  
 聖籠町オープン・カレッジ 若月①
- 11日 チャペル・アッセンブリー・アワー⑮  
 説教：山田耕太 教授 「神を待ち望む」  
 講演：恒松郁生 倫敦漱石記念館館長  
 「倫敦と漱石—あの時、この時」  
 (写真)
- 14日 三条市オープン・カレッジ②  
 新発田市オープンカレッジ  
 ウィリアムズ②
- 18日 聖籠町オープン・カレッジ 若月②  
 チャペル・アッセンブリー・アワー⑯  
 説教 近伸之 豊栄キリスト教会牧師  
 「神のわざが現れるためです。」  
 講演：本学4年次生 田中正範 さん  
 「キリスト教に関する質問」
- 20日 英語検定試験2級 (41名受験)
- 21日 新潟市オープン・カレッジ③  
 三条市オープン・カレッジ③
- 22日 新発田市オープン・カレッジ 延原③
- 23日 新発田市オープン・カレッジ ウィリアムズ③  
 聖籠町オープン・カレッジ 若月④
- 25日 チャペル・アッセンブリー・アワー⑰  
 説教 樫山孝夫 エイズ・サポーター新潟代表  
 「人間はみな 癒しびと」  
 講演 マーク・フランク 契約講師& クッキング・サークル  
 「What's the cooking circle?」
- 28日 新潟市オープン・カレッジ④  
 三条市オープン・カレッジ④
- 29日 新発田市オープン・カレッジ 延原④
- 30日 新発田市オープン・カレッジ ウィリアムズ④  
 聖籠町オープン・カレッジ 若月③



## 11月

- 1日 チャペル・アッセンブリー・アワー⑱  
 説教 藤田基道 五泉教会牧師  
 「希望することができない時」  
 講演 榊原茂 カリフォルニア神学大学講師  
 「熱風の地に生きる～エルサレムの現在～」  
 企業との就職懇談会 14:00～/ホテル新潟
- 8日 ふれあいバラエティー

- 9日 第12回敬和祭 (～10日)
- 11日 新潟市オープン・カレッジ⑤
- 15日 チャペル・アッセンブリー・アワー⑲  
 説教 榎本栄次 敬和学園高等学校長  
 「人が笑うとき」
- 18日 新発田市オープン・カレッジ⑥
- 22日 チャペル・アッセンブリー・アワー⑳  
 説教：石黒 満 栗平教会牧師  
 「あなたのタラントンは何か」
- 23日 推薦入学試験
- 29日 推薦入試合格発表  
 チャペル・アッセンブリー・アワー㉑  
 説教 矢嶋直規 助教授 「報われる人生」  
 講演 旗野 秀人 新潟水俣病訴訟支援者  
 「阿賀野川 今も昔も宝もん」  
 新井満先生 文化講演会  
 講師 新井満先生  
 「心の荒野に木を植える」  
 (写真)



## 12月

- 4日 献血車による献血
- 6日 チャペル・アッセンブリー・アワー㉒  
 説教：竹前 篤 新発田教会牧師  
 「愛する、とういうこと」  
 講演：Mary Hughes 契約講師  
 「私のセネガル体験」
- 13日 クリスマス行事
- 20日 チャペル・アッセンブリー・アワー㉓  
 説教 宇田川潔 事務局長 「優しい眼差し」  
 韓国ソウル神学大学エンゲティ合唱団公演  
 (写真)
- 講演 安永祖堂  
 花園大学文学部  
 国際禅学科教授  
 「キリスト教と私」
- 21日 大学・高校合同クリスマス研修会
- 23日 冬期休暇 (～1月5日)



## 2003年

### 1月

- 10日 チャペル・アッセンブリー・アワー㉔  
 説教：延原時行 宗教部長 「天来の招き」  
 講演：永野茂洋 教授最終講義「文化を比較する」
- 18日 大学入試センター試験 (～19日)
- 21日 補講日 (～25日、24日を除く)
- 26日 一般入学試験 (A日程)  
 外国人留学生入学試験 (第1次)
- 28日 後期末試験 (～2/10)
- 29日 一般入学試験 (A日程) 合格発表  
 外国人留学生入学試験 (第1次) 合格発表



# KEIWA チャレンジ学生ファイル②

国際文化学科 2年

中倉 淳智



英語英米文学科 4年

有田 瞳

## 『趣味は人生を豊かにする』

絵を描く事は昔から好きで、飽きやすい性格の私が唯一幼い頃から今まで続けられてきた事です。題材は身近にある自然の風景や空想上のもので、好きな音楽を聴いている時などや日常生活の中で思い浮かんだものなどを描いています。

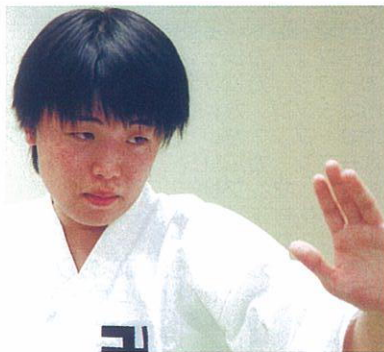
絵を描いている時は頭の中が解放され、創造という自由な空間の中で自分と向き合い、夢中になって楽しめ、また息抜きできる時でもあります。趣味は人生をより充実させてくれます。今回、さまざまな縁から、このような機会を与えていただきました。思わぬ所へ繋がってゆく人の縁は大切だなと思う今日この頃です。

## 『少林寺の教え』

私が少林寺拳法を始めて一年半、少林寺の教えは私の生きる道しるべとなっています。この一年半で多くの面で成長したと実感しています。

「半ばは自己の幸せを、半ばは他人の幸せを」などの少林寺の精神は、私たちにさらなる飛躍を与えてくれます。

来年度は、団結して今年度とは比べものにならない活発さを出して大会でもあらゆる部門で本格的に優勝を狙っていくことが部員一同の目標です。そして私自身、部の主将として自己を高めていきたいと思っています。



敬和学園大学

[www.keiwa-c.ac.jp](http://www.keiwa-c.ac.jp)